

ドイツ語の発音のポイント【母音で気をつけたいこと&定冠詞】

1/25 の日曜レッスンで、ドイツ語の母音の発音について大谷先生からご説明がありました。

レッスン動画等で内容を確認いただく際、参考となるよう、
先生がホワイトボードに書かれていた内容とご説明のポイントを、プリントにまとめます。

1. 母音で気をつけたいこと

- ・ドイツ語の母音には短母音と長母音がある。
- ・発音対訳表で同じカナ表記をしていても、短母音と長母音では発音が異なる。
短母音と長母音で発音の違いが特に大きく、注意が必要なのが、オとエ。
- ・カナ表記では、短母音と長母音の音の違いは表現できない。
先生方の発音を真似したり、発音記号で見分けたりしながら、繰り返し練習して身に付けていく必要がある。

【表:オ、エの短母音・長母音の違い】

	短母音／長母音	発音	例	発音記号
オ	短母音	明るい オ	G <u>o</u> tt	[ɔ]
	長母音	暗い オ（ウに近く、唇を丸めて発音）	s <u>o</u> , w <u>o</u> hnen	[o]
エ*	短母音	明るい エ	H <u>ä</u> ndel, <u>e</u> s	[ɛ]
	長母音	暗い エ（イに近い発音）	B <u>e</u> ethoven, <u>E</u> rde, g <u>e</u> n	[e]

※エの発音にはもう1つ、語尾などで使われる「あいまいなエ」がある。(Erde, werden など／発音記号 [ə])

※発音対訳表での発音記号の見方

ズィーリヒ

Selig

[zé:liç] ← 発音記号

祝福された

2. 定冠詞の扱い

- ・定冠詞 der → 英語で言う「the」。
- ・名詞の前に置かれ、「その～」などと訳されることが多い。
実際は明確な意味を持たず、ドイツ語では強くは発音しない。
歌う際にも、強調されないように注意が必要。(大事なものはその後に続く名詞)
- ・ドイツ語の定冠詞は、後に続く名詞の性(ドイツ語には男性／女性／中性名詞がある)、数(単数、複数)、格(～が、～の、～に、～を)によって形を変える。
- ・発音対訳表で(定冠)と書かれているのも、見分ける参考になる。

※レッスンでは定冠詞のお話でしたが、不定冠詞 ein も、歌唱上の注意は同様のため、裏面の表で補足しています。

- ・英語では「a, an」
- ・後に続く名詞は単数。「ある～」 「1 つの～」と訳されることが多いが、実際は明確な意味を持たない。
- ・発音対訳表では(不定冠)と表記

【表:ドイツ語定冠詞 der の変化】

格	定冠詞がついている名詞の性・数			
	単数			複数
	<u>男性名詞</u>	<u>女性名詞</u>	<u>中性名詞</u>	
1格(主格,～が)	der (der Vater, 父が)	die (die Mutter, 母が)	das (das Kind, 子が)	die (die Väter, 父たちが)
2格(属格,～の)	des (des Vaters, 父の)	der (der Mutter, 母の)	des (des Kindes, 子の)	der (der Väter, 父たちの)
3格(与格,～に)	dem (dem Vater, 父に)	der (der Mutter, 母に)	dem (dem Kind, 子に)	den (den Vätern, 父たちに)
4格(奪格,～を)	den (den Vater, 父を)	die (die Mutter, 母を)	das (das Kind, 子を)	die (die Väter, 父たちを)

【表:ドイツ語不定冠詞 ein の変化】

格	不定冠詞がついている名詞の性・数			
	単数			複数
	<u>男性名詞</u>	<u>女性名詞</u>	<u>中性名詞</u>	
1格(主格,～が)	ein	eine	ein	
2格(属格,～の)	eines	einer	eines	
3格(与格,～に)	einem	einer	einem	
4格(奪格,～を)	einen	eine	ein	

以上